

東京本部事務局が移転しました!

JASO事務局（東京）は、2006年より新橋を拠点に活動してまいりましたが、5月15日に文京区音羽へ移転いたしました。最寄り駅は東京メトロ有楽町線「護国寺駅」です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。

電話・FAX番号が変更しておりますのでご注意ください。ようお願いいたします。



新事務所

【所在地】

東京都文京区音羽1-20-16

PAL音羽ビル7階

〒112-0013

【TEL】03-6912-0772

【FAX】03-6912-0773

【E-MAIL】info@jaso.jp

（変更なし）

【最寄り駅】

東京メトロ有楽町線

護国寺駅 6番出口

徒歩5分



目次:

東京本部 事務局移転のお知らせ	1
JASO耐震化支援事業について -08年度報告と09年度の動き-	2
JASO診断レポートNo.6 NRマンション(5F・RC造)	4
JASO受託研究報告 建築研究所「建築構造物の 災害後の機能維持/早期回復 を目指した構造性能評価システ ムの開発」	5
お知らせ & スケジュール	6

JASOトピックス

- 4月 新宿区の耐震診断業務がスタート
- 5月15日 本部事務局が文京区に移転
- 6月12日 JASO総会・記念シンポジウム開催
- 6月12日 JASO「耐震総合安全性の考え方」DVD発売

JASOの耐震化支援事業について -08年度報告と09年度の動き-

JASOの本年度の行政への耐震化支援事業は、東京都マンション耐震化促進協議会の業務ほか、前年度までに東京都杉並区、北区、練馬区の3区の業務を受託しており、今年度より新宿区の業務も開始いたしました。現在は墨田区の事業の受託を準備中です。各区の制度に基づき、アドバイザー派遣、簡易診断、精密診断を実施していきます。

①東京都杉並区

■対象：昭和56年以前に建てられた木造以外の建築物

■内容：アドバイザー派遣（3回まで・無料）、簡易診断（無料）、精密診断（助成）

東京都杉並区への耐震化支援事業は、2006年から開始され、本年度も継続します。アドバイザー派遣は2009年4月末まで174件申し込みがあり、その内訳は旧耐震建物が135件、新耐震建物が36件、取下げが1件となっています。

アドバイザー派遣の結果、安全宣言されたものは11%でした。それ以外では、補強設計に進んでいるものは1%と少なく、精密診断が終了したものが7%、精密診断が必要なものが45%、簡易診断が必要なものが26%となっています。一方で、設計図書がないなどの理由で診断が不可能なケースも10%ありました（図1）。

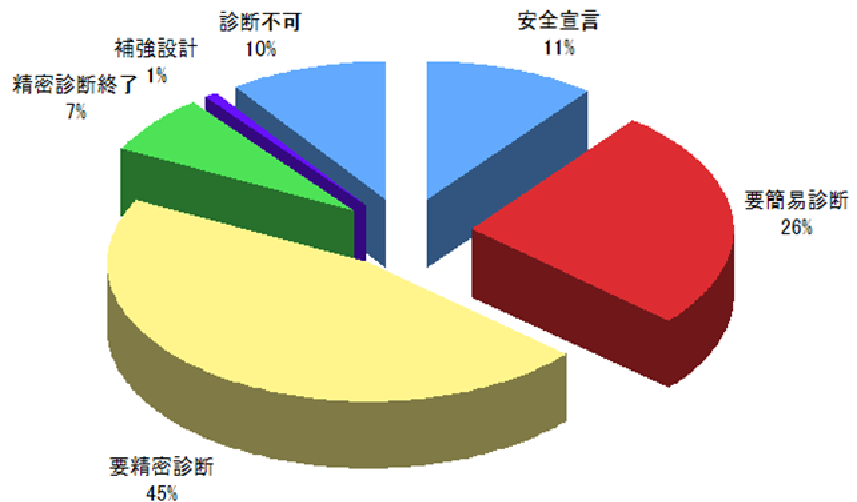


図1 杉並区 アドバイザー派遣申込の結果内訳
※グラフは旧耐震のみの集計

JASO会員からのお知らせ(広告)

受水槽用緊急時取水装置 WATERGET 2 ウォーターゲット



1. ポンプでサイフォンを起こし、
2. あとはバルブの開閉だけ

「受水槽に水はあったのに、
取り出す方法がなかった」
過去幾多の震災において、こんな情報が数多く寄せられています。
そこで、NYKは受水槽用緊急時取水装置「ウォーターゲット2」を開発。
SK方式(サイフォン給水方式)採用により、工事も電源も不要です。

日本容器工業グループ
株式会社 エヌ・ワイ・ケイ
東京都中央区八重洲 2-6-16
Tel 03-3281-1946
<http://www.nyk-tank.co.jp>

②東京都北区

- 対象：昭和56年以前に建てられた分譲マンション
- 内容：簡易診断及びその前後のアドバイザー派遣（それぞれ1回・無料）、精密診断（助成）

東京都北区の耐震化支援事業は2007年より受託し、2009年4月末までに17件のアドバイザー派遣申し込みがあり、1件の取下げがありました。

アドバイザー派遣の結果、安全宣言を出したものはなく、精密診断が必要とされたものが75%、簡易診断が必要とされたものが25%となっています（図2）。

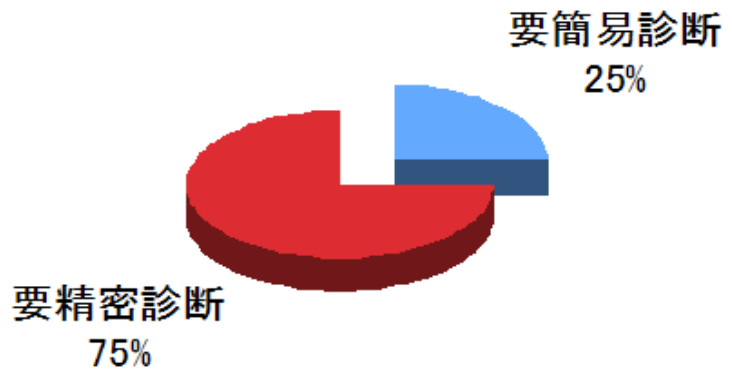


図2 北区 アドバイザー派遣申込の結果内訳

③東京都練馬区

- 対象：昭和56年5月以前に建てられた分譲マンション
- 内容：アドバイザー派遣及（5回・無料）、簡易診断（無料）、精密診断（助成）

東京都練馬区の耐震化支援事業は2008年より受託し、2009年4月末までに28件のアドバイザー派遣申し込みがありました。

アドバイザー派遣の結果、安全宣言されたものが18%、精密診断が必要とされたものが25%、簡易診断が必要とされたものが53%あります。一方で、設計図書がないなどの理由で診断が不可能なケースが4%ありました（図3）。

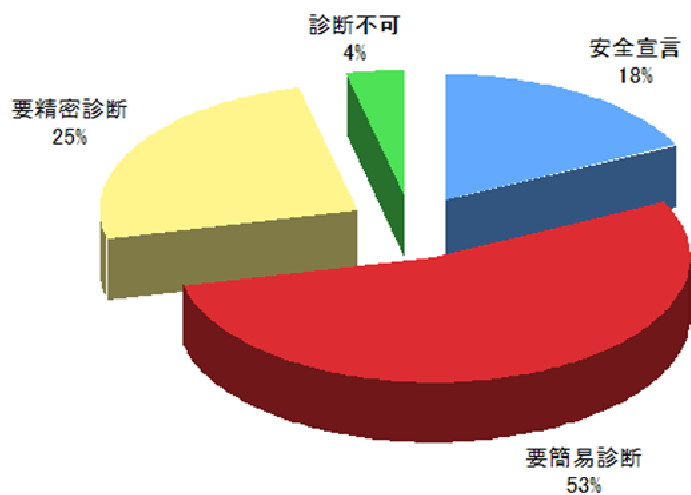


図3 練馬区 アドバイザー派遣申込の結果内訳

④東京都新宿区

- 対象：昭和56年5月以前に建てられた耐火建築物
- 内容：アドバイザー派遣及（5回・無料）、簡易診断（無料）、精密診断（助成）

東京都新宿区の耐震化支援事業は本年度より受託し、早速、2009年4月末までに7件のアドバイザー派遣申し込みがあり、1件の取下げがありました。現在、業務進行中です。

結果に示すとおり、設計図書がないために診断が行えないケースがいくつも出てきています。この問題を今後の支援制度の課題と捉え、JASOでは現在、アドバイザー派遣等を行ったマンションでどのような図面が保管されていたか、いなかったかの実態調査を実施中です。調査結果がまとまり次第、結果を行政等へ公表することを検討しています。（田中聡）

JASO耐震診断レポート No.6

NRマンション(5階建て RC造)

JASOアドバイザー 構造：高橋達夫 建築：江守芙実 設備：水上邦夫

■経過

- アドバイザー派遣申込 2008年1月
- アドバイザー派遣 2008年2月
- 簡易診断申込 2008年3月
- 簡易診断実施 2008年4月～5月
- 簡易診断結果報告会 2008年7月
- 精密診断依頼 2008年9月
- 精密診断実施 2008年10月～2009年3月
- 精密診断結果報告会 2009年3月

■現況

JR西荻窪駅から徒歩圏にある5階建て23戸の分譲マンションである。築40年のマンションで、建築後の都市計画の改変により、建物の容積や高さが現在既存不適格規模となっている為、閑静な住宅街の中にあっては目を引く高さの建物である。建物築造後から自主管理により良好に管理されている。耐震精密診断の結果は、必要な補強箇所が1・2階の西側共用部分のみ済むものであったため、補強に関する合意形成は比較的円滑に行なわれたように感じる。直近に大規模修繕工事を予定していたが、耐震補強工事と大規模修繕を同時に行う方が効率よいと判断し、それらを同時に行なうよう管理組合がスケジュールを変更し、現在耐震補強の実施設計に着手する準備中である。

◆アドバイザー派遣報告(概要)

- 建築 避難安全性に関する診断と、建物規模の現行法に照らした確認を要する。
- 構造 旧耐震基準に基づく設計であり、簡易診断を推奨する。

◆簡易診断結果報告(概要)

- 構造 梁間方向は全階で l_s 値が0.8を超えたが、桁行方向は l_s 値が0.8を超えない階があり、精密診断を推奨する。
(1階 l_s 値=0.32)
- 建築 バルコニーからの避難経路が確保されていない(避難ハッチなし)。建具などの2次部材の劣化が進行している。延べ床面積・建物高さが既存不適格である。設計図と現況に齟齬があり、精密診断を行なうには現況調査が必要。道路脇の大谷石ブロック塀の耐震性に疑問有。
- 設備 高置水槽の耐震性能に疑問有。現行法に適合しない地下受水槽有。

◆精密診断結果報告(概要)

- 設計図と販売時のパンフレット、現地実測結果を元に、現況形状に則った診断を行なった。
梁間方向 l_s 値0.69～3.37 桁行方向 l_s 値0.47～1.13
- 【補強案】
階段室出入口廻りに外付フレーム補強、階段室1階・2階壁に耐震スリット切。

(報告：江守芙実)



建物外観



大谷石ブロック塀は区の助成を利用し生垣に作り変えた

■マンション概要

- 所在地：東京都杉並区西荻北
- 構造規模：RC造5階建て/23戸
- 敷地面積：約300㎡
- 建築面積：約180㎡
- 延べ床面積：約810㎡
- 建築確認：昭和44年
- 建築主要部位の仕上げ(現在)
屋根：躯体の上ウレタン塗膜防水
外壁：モルタル+複層塗材
一部タイル張り

JASO受託研究報告

**建築研究所「建築構造物の災害後の機能維持／
早期回復を目指した構造性能評価システムの開発」**

JASOが独立行政法人建築研究所から受託され研究をおこなっている標記の全体委員会が3月18日に弘済会館で開催され、これまでの進捗状況と平成21年度に向けて各サブテーマから以下の報告があった。

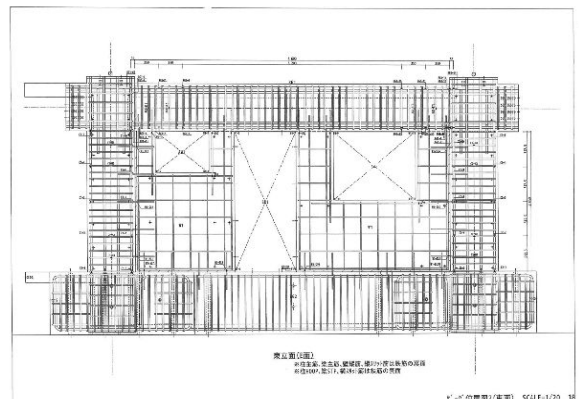
サブテーマ1（評価体系）では、質点系モデルにより時刻歴応答解析をおこない層加速度と層間変形を求め、構造部材や非構造部材等の損傷を判定するシートを作成している。さらに応答値により損傷状態シートを作成し改修工事手順の推定から改修工事見積内訳シートで見積額を算出する。最終的な評価フローとデータベースを用いて評価例を提示していく。

サブテーマ2（データベース）では、構造部材、非構造部材、設備機器のワークシートで修復性に関するデータベースを構築するとともに各メーカーから修復性に関するアンケートを収集した。建築物の修復費用と時間の算定方法に関する検討をおこない、実物大実験から得られるデータを反映したデータベースフォーマットを構築する。

サブテーマ3（普及促進）では、地震後の建築物（住宅・オフィス・病院）の被害について被害発生シナリオと関連する項目や重要度等を整理している。整理方法は被害発生の時系列で整理する方法や物理的な損傷が機能に与える影響で整理する方法などを試みた。普及促進のための資料は、専門家、建築主、市民向けに分けて説明性を検証している。

平成21年度からは新規課題「災害後の建築物における機能の維持・早期回復を目指した技術開発」を掲げて研究活動を継続する。建築研究所において実物大の典型的な部屋の中に非構造部材や設備配管をセットして静的加力実験をおこなう。

（宮城秋治）



実物大実験（予定）の配筋・ゲージ位置図

JASO会員からのお知らせ（広告）

サニタリータンクレス圧送排水システム

どこでもえーす

トイレ、サニタリーの設置位置が自由に選べる

従来のサニタリーシステムでは排水槽や下水道本管まで汚水・汚物を流すための排水こう配が必要であり、設置場所に限りがありました。

本システムは専用ポンプを採用し、汚水・汚物を圧送するため、地下階など、逆こう配の配管となる場所にもトイレ・洗面台・シャワーなどが設置できます。

地震などの災害時には、仮設トイレを十台程度連結した排水管を接続し、発電機を使用して、排水可能なマンホールまで配管し接続できます。！！

斎久工業株式会社

〒134-0003 東京都 江戸川区 春江町 5-15-57

TEL : 03-5667-3190 FAX : 03-3675-9900

URL : <http://www.saikyo.co.jp/>



.....お知らせ.....

JASO通常総会・セミナー

下記日程でJASO通常総会及び記念セミナーが開催されます。

- 会 場：健保プラザ 全国設計事務所健康保険組合
東京都渋谷区千駄ヶ谷2-37-9 Tel.03-3404-9545
 - 日 時：2009年6月12日（金）
 - 10：00～12：00 第21回JASO理事会（健保プラザ集会室）
 - 13：30～14：30 2009年度通常総会（健保プラザ集会室）
 - 15：00～17：00 記念シンポジウム（健保プラザ集会室）
 - 17：30～19：30 懇親会（健保プラザ内 レストランPal）
- 参加費 3,000円

◆記念シンポジウム

「地震総合対策の具体化～震災対策委員会中間報告～」

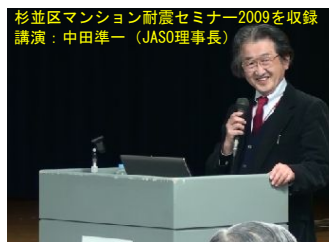
JASO震災対策委員会が本年度取り組む「（仮）耐震総合安全対策ガイドライン」の方向性について説明・意見交換を行います。昨年度、指針委員会が作成した「考え方」を具体化するために、皆様のご意見をお待ちしています。

「耐震総合安全性の考え方」が DVDになりました！6月12日発売！

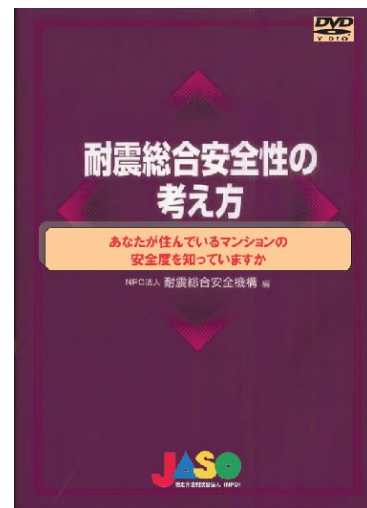
杉並区マンション耐震セミナー2009（2009年1月・杉並区主催）の様子がDVDになりました。中田準一理事長の講演「耐震総合安全性の考え方」が収録されています。

初回限定版は特別付録の「耐震に関するお役立ちデータ集」CD付き。ぜひ、この機会にお求め下さい！

講演＋特別付録 CD2枚組み
3,000円（定価・税込み）
[会員特別価格 2,500円]



杉並区マンション耐震セミナー2009を収録
講演：中田準一（JASO理事長）



2009年 JASO 行事スケジュール

6月	6/2	(火)	アドバイザー会議 事務所開き
	6/12	(金)	JASO 2009年度総会・記念シンポジウム（健保プラザ）
	6/16	(火)	耐震簡易診断審査委員会
7月	7/7	(火)	アドバイザー会議
	7/21	(火)	耐震簡易診断審査委員会
8月	8/4	(火)	アドバイザー会議
	8/18	(火)	耐震簡易診断審査委員会

スケジュールは随時更新いたしますので、最新号でご確認下さい。